学校番号	414

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)音楽演習α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多様な学習内容を通して音楽文化について理解を深める。
・個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の伸ばすことにより感性を高めていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
音楽の諸活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育て、音楽文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現・歌唱	【歌唱】 島唄／小さな空／見上げてごらん夜の星を	c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:曲想と歌詞が表す情景や心情とのかかわりを理解して歌う。 a: 自分なりのイメージをもち，リズム，速度，旋律，強弱などの要素の働きを生かして歌う。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察
2学期	表現・器楽	【器楽】 リコーダー:Jupiter ギター:なごり雪／好きにならずにいられない	c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:自分なりのイメージをもち，音色，リズム，速度，旋律などの要素とそれらの働きを理解し，表現を工夫して演奏する。 a:楽器の特徴を理解し，いろいろな奏法を身に付けて演奏する。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察
3学期	表現・器楽	【器楽】 六段の調／てぃんさぐぬ花	c:我が国や郷土の伝統音楽における曲種の違い・特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:和楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 a:和楽器の音色や奏法の特徴を理解し，その特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度